

想される。→〔表5・6〕

(3) 相互協力

図書館資料に関する図書館間相互協力の問題は、図書館における主要な業務として大きく取り上げられつつあるが、業務そのものはむしろ停滞気味である。その理由は、所蔵図書館の調査から初めて依頼した館に到着するまでに相当の時間がかかることと、郵送等の費用も多額を要するからである。したがって、相互協力は効果的な図書館奉仕の有力な手段であることは疑う余地がないが、現状ではまず問題点の解決が先決である。

(4) 補助資料の作成

郷土関係新聞記事索引は引き続き作成にあたったが、補助資料の作成は専任職員を配置することができないので、積極的に推進することは極めて困難である。県内人物文献索引、近世以降県人著作目録、参考図書目録、主要雑誌記事索引、参考文献索引、県内出版物目録等々、調査相談事務の効果的な遂行のために必要な補助資料として作成すべきものは多い。

〔表1〕利用者数（昭和47.4～48.3）

職業別	区分	館内	館外	計	構成比
1 勤め人		1,569人	4,299人	5,868人	14.8%
2 自家営業		148	502	650	1.7
3 主婦		75	1,399	1,474	3.7
4 無職・その他		275	820	1,095	2.8
5 学生・生徒		2,604	13,334	15,938	40.3
6 児童		3,362	11,171	14,533	36.7
計		8,033	31,525	39,558	

〔表2〕利用図書冊数（昭和47.4～48.3）

職業別	区分	館内	館外	計	構成比
総記		450冊	772冊	1,222冊	1.7%
哲学宗教		363	1,572	1,935	2.8

〔表4〕記録された参考質問の分析（昭和47.4～48.3）

質問類型	主題に関する分析											質問形式による分析			
	郷土	総記	思想	歴史地誌	社会科学	自然科学	工学工業	産業	芸術	語学	文学	計(件)	口答	電話	文書
個人・団体に関すること	38	3	3	19	14	5	4	5	4		10	105	46	24	35
歴史に関すること	29		1	3	7		2	2	3		7	54	15	12	27
地理・地名に関すること	7		2	2			3	7			4	25	18	3	4
言葉に関すること	6		5	1	4	5	3	7		21	5	57	41		16
統計・データに関すること	20				12	3	8	4				47	34		13
法規・手続に関すること	5				17	9	3					34	22		5
写真・図版に関すること	9		2	2	5	6			9		5	38	32		2
最近のニュースに関すること	7				15	3		5				30	17		13
物事の内容に関すること	19	3	5	3	4	10	7	5	2		13	71	33	27	11
書誌に関すること	54	8	5	1	30	19	16	6	5	3	34	181	99	53	29
計	194	14	23	31	108	60	46	41	23	24	78	642	357	172	113

歴史地誌	1,551	2,609	4,160	6.0
社会科学	2,877	4,091	6,968	10.0
自然科学	793	2,246	3,039	4.4
工学・工業	454	1,144	1,598	2.3
産業	513	655	1,168	1.7
芸術	547	2,187	2,734	3.9
語学	178	367	545	0.8
文学	1,023	12,252	13,275	19.1
児童	8,955	19,246	28,201	40.5
新聞・雑誌	4,686	29	4,715	6.8
計	22,390	47,170	69,560	

〔表3〕館外個人貸出登録者数（昭和47.4～48.3）

職業別	人員	男(人)	女(人)	計(人)	構成比(%)
児童(含幼児)		533	525	1,058	22.0
学生・生徒 2,815 58.4%	中学校	284	224	508	10.5
	高校	326	616	942	19.5
	大学	535	649	1,184	24.6
	各種学校	54	127	181	3.8
勤め人 600人 12.5%	公務員	202	42	244	5.1
	会社員	121	44	165	3.4
	団体職員	115	76	191	4.0
自家営業 63人 1.3%	商業	33	6	39	0.8
	農業	14	0	14	0.3
	自由業	7	3	10	0.2
主婦			172	172	3.6
無職・その他		69	39	108	2.2
計		2,293	2,523	4,816	